

茨城大学基金 *Next Step* 2022(令和4)年度活動報告

総務部 基金・同窓会課
茨城県水戸市文京2-1-1
TEL:029-228-8781
FAX:029-228-8249
Mail:kikin@ml.ibaraki.ac.jp

日頃より、茨城大学への多大なご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和4年度の基金活動実績についてご報告いたします。

① 活動概要について

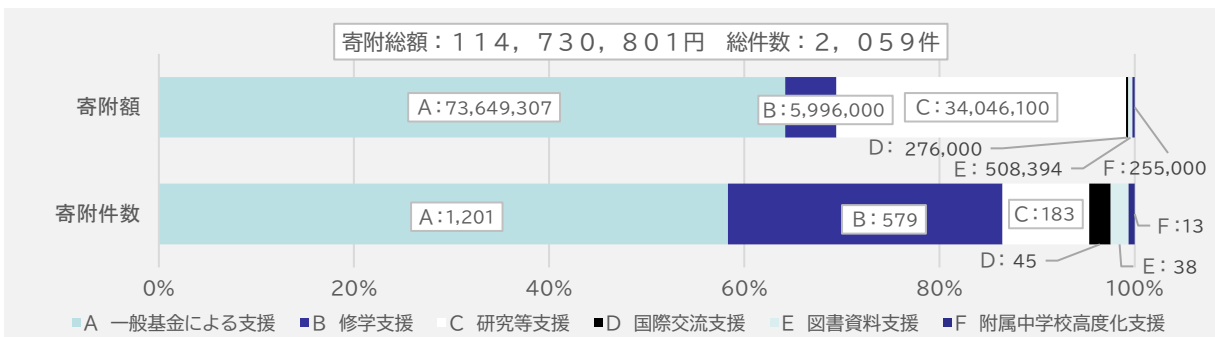
2022(令和4)年度の活動は、一般寄附に加え、特定基金(修学支援、研究等支援事業基金など)についての募集を実施したことで、本学を応援して下さった多くの皆様からのご協力により、結果としまして、寄附件数2,059件、寄附総額114,730,801円ものご支援に繋がり、学生支援をはじめとする様々な活動のために活用させていただきましたこと、心より御礼申し上げます。

また、令和3年度に創設した賛助会員制度(継続寄附制度)についても各種イベント開催時での積極的な周知等により、会員数を順調に伸ばしていくことができました。

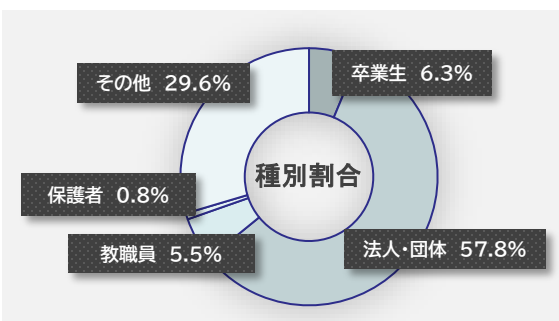
個人会員の方は、毎月1,000円(年間12,000円)以上から、法人・団体会員の方は、毎年1口50,000円からご入会いただくことができ、会員の皆様には、寄附金額に応じた様々な特典をご用意しておりますので、是非ともご加入についてご検討をいただきますよう併せてお願い申し上げます。

② 受入実績について

2022(令和4)年度事業別寄附額・件数



2022(令和4)年度寄附者種別受入状況

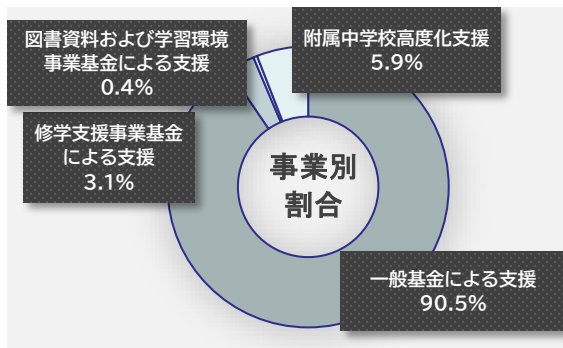


種別	金額
法人・団体	66,379,382円
卒業生	7,224,658円
教職員	6,310,603円
保護者	882,500円
その他	33,933,658円
合計	114,730,801円



③ 基金支援活動内容について

2022(令和4)年度事業別支援・支出状況



事業種別	金額
一般基金による支援	63,635,164円
修学支援事業基金による支援	2,445,000円
図書資料および学習環境事業基金による支援	350,000円
附属中学校高度化支援	4,610,150円
合計	71,040,314円

④ 主な支援内容

一般基金

1. 教育研究や就職・課外活動等充実支援(大学設備の更新・修繕、サークル活動援助、就職支援等)

オンラインチャリティーイベント

「Ibaraki University Giving Campaign」を開催

茨城大学は、学生の課外活動等を支援するため、茨城大学公認学生団体を応援するオンラインチャリティーイベント「Ibaraki University Giving Campaign」を12/12～12/18の期間で開催しました。

株式会社Alumnote(アルムノート)が企画・運営を行う「Giving Campaign 2022」は、国立大学における教育・研究領域への寄附や支援者コミュニティの拡大を目的として、全国の企業から募った協賛金を、大学基金や大学関連団体(部活動・サークルなど)に配分し、活動資金などに充ててもらおう仕組みです。茨城大学は、長引くコロナ禍において活動資金が十分に得られず、思うように活動ができない団体への支援を行うとともに、支援者の新規獲得を目指し、本キャンペーンへ参加しました。

参加した各団体へは、キャンペーンサイト上で集めた本学への「応援数(投票数)」に応じた協賛金の配分をいただき、ボールや楽器など使用する道具や運搬用の台車の購入費用などに充てることができたり、OB・OG等からの多数の応援メッセージ投稿や希望の団体へ寄附を通じた支援をいただくことで、コロナ禍において十分な活動ができなかった学生たちの今後の活動の一層の励みになることができました。



学生の生活支援として「食の支援」を実施

コロナ禍に加え、長引く物価高騰の影響を受けている学生の生活支援として、全国共済農業協同組合連合会茨城県本部(JA共済連 茨城)から、お米(茨城県オリジナル品種「ふくまる」)やレトルトカレー、カップ麺などの食料品が寄贈され、茨城大学生活協同組合(生協)の協力をいただき、各キャンパスの学生たちに手渡されました。

※JA共済連 茨城からの学生に対する食の支援は、今回で3回目となります。

2. 学生の国際的なコミュニケーション力強化に資する支援

茨城大学海外派遣学生旅費支援金として、海外派遣プログラム、海外で授業の一環として行われる語学研修や文化研修等に要する派遣学生の航空賃や滞在費などの旅費の一部を支援いたしました。

3. 地域社会で活躍する人材育成に関するプロジェクト支援

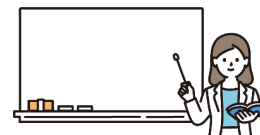
茨城大学で進めている「アントレプレナーシップ教育プログラム」内における、企画力や課題発見・解決能力を磨くための様々なイベントや実践的な取組に対する支援として活用させていただきました。



アントレプレナーシップ教育プログラムでの活動の様子

4. 教員採用試験対策支援

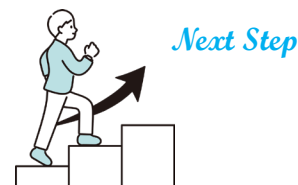
教員採用試験対策支援として、全学教職センター(就職進路相談室)内の就職相談講師の増員や、理系学生の教員志望者を対象に試験対策講座を開講することで、教員を目指している学生向け支援体制の強化を図ることができました。



5. 筑波銀行からの寄贈サービス付きSDGs私募債『地域の未来応援債』による支援

株式会社筑波銀行から、脱炭素などの教育研究やアントレプレナーシップ教育プログラム支援などとして、寄贈サービス付きSDGs私募債『地域の未来応援債』によるご寄附をいただきました。

いただいた寄附金は、寄附目的に沿った形で本学の教育・研究のために有効に活用させていただきました。



特定基金

■ 修学支援事業基金(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生への経済支援等)

≪支援額:2,445,000円≫

学生への生活支援の観点から、学生食堂で使用できる食事券の支援や食料品セットを合計689名の学生に総額2,445千円分(本寄附以外の予算も含む)配付することができました。

2023(令和5)年度も、物価高の影響から厳しい生活を余儀なくされている学生等を支援するため、引き続き、食料品支援等の学生の経済的支援を実施する計画を立てております。



令和5年4月よりベーカリーショップ
がオープン!

■ 図書資料および学習環境事業基金(茨城大学図書館への支援)

≪支援額:350,000円≫

古本募金を含め総件数38件、総寄附額508,394円のご支援の一部を電子ブックの購読費用に充てさせていただきました。電子ブックは本学の学生、教職員であれば日立、水戸、阿見のどのキャンパスにいても、学外からもアクセスすることができます。

令和4年度は学生の授業に関連する専門書のほか、就職や資格に関する電子ブックを購入し、学生の学習支援、就職支援に役立てることができました。



茨城大学図書館

その他、茨城大学基金2022(令和4)年度活動報告につきましては、茨城大学基金ホームページでも公開しております。

茨城大学基金ホームページ

<https://www.ibaraki.ac.jp/fund/report/use/index.html>

